

## 〔 研 究 〕

## 人間ドックにて偶然見つけた尿管瘤結石

沖縄赤十字病院 検査部

當 銘 弘 幸    瑞慶山良助    染谷みさ子  
 仲 間 弥 生    比 嘉 万 里    安 里 光 秀  
 島 田 篤 子

沖縄赤十字病院 泌尿器科

當 山 裕 一

## 【 は じ め に 】

尿管瘤 (ureterocele) はまれな疾患で尿管末端部が、瘤状に拡張し球状に膨隆する尿管の先天性奇形で膀胱内尿管瘤と異所性尿管瘤に分類される。

当院の人間ドック超音波検査では上腹部 (肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓) の他、下腹部 (膀胱、前立腺、子宮、卵巣) までルーチンワークとして描出可能なかぎり検査している<sup>1)</sup>。

今回我々は人間ドックにて特に膀胱充満せず尿管瘤内に結石が充満した1例を経験したので超音波所見を中心に参考的文献も加え報告する。

## 【 症 例 】

患 者：59歳、男性。

家族歴：特記すべきことなし。

既往歴：高血圧、痛風

現病歴：20年近く前に近医にて左尿管瘤を指摘され手術を勧められたが、術後に膀胱尿管逆流 (VUR) の可能性もあると言われそのまま放置していた。

平成14年11月に当院の人間ドックを初めて受診し超音波検査を施行したところ、膀胱内左尿管出口部付近に約28mm大の音響陰影伴

う strong echo が認められた。(写真1)

結石の移動性を確認する為体位変換を行ったが結石の移動は認めなかった。

左腎臓は水腎症や結石はなく、その他肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓にも異常所見は認めなかった。

エコー上、膀胱腫瘍の可能性等も考えられ外来受診し精査となった。

尿一般検査は蛋白(-)、糖(-)、潜血(2+)、尿沈渣は白血球1-4/每視野、赤血球5-9/每視野、尿細胞診はnegativeであった。

生化学検査では尿酸7.8mg/dl、総ビリルビン1.5mg/dlと軽度の上昇を認めるもその他の生化学検査および、血算において異常値は認めなかった。

超音波所見：外来では膀胱充満法にて検査施行した。(泌尿器の患者は必ず膀胱充満法に

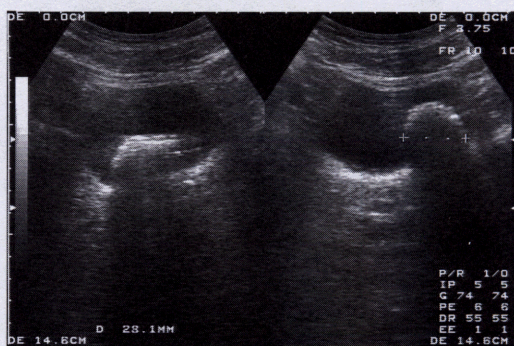


写真 1



て検査)

左尿管出口部には瘤状に拡張、膨隆する中に多数の小結石が充満するように見えた。(写真2)

左腎盂は中等度拡張を伴っていたが、両腎とも重複腎盂は見られなかった。

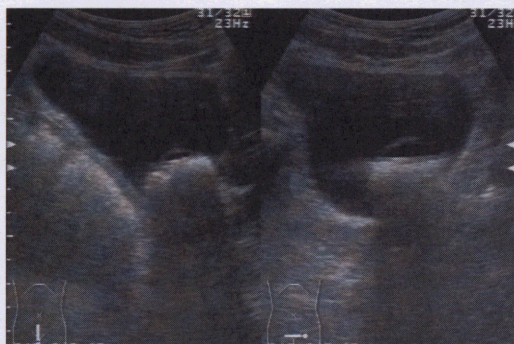


写真 2

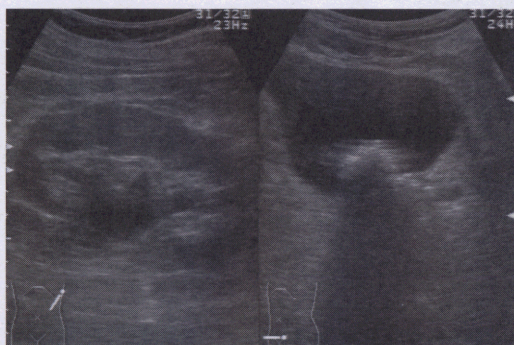


写真 3



写真 4

体位変換を行ったところ、尿管瘤内で結石が移動するのが確認され、また拡張した左尿管内に結石が移動するのも見られた。(写真3)

エコー上、尿管瘤内結石が強く疑われた。腎、尿管、膀胱X線撮影 (KUB) では結石は検出されず、尿酸値が高いことから尿酸結石が示唆された。(写真4)

超音波検査上、左尿管瘤及び瘤内結石と診断され、その他の検査も含め本人に手術を勧めるも症状が無い為拒否していた。

しかし、平成15年6月左下腹部痛および肉眼的血尿を主訴に再診し、単純CTにて尿管及び尿管瘤内に結石を認めた。(写真5) また静脈性腎盂撮影 (IVP) では左腎盂は軽度拡



写真 5



写真 6



張し、左尿管下端はコブラヘッド状に拡張していた。(写真6)

経尿道的尿管瘤壁開窓術<sup>2-3)</sup>を行ったところ、尿管瘤の中から米粒～小豆大の結石が200個前後排石され、結石分析では尿酸結石であった。(写真7、8)

術後血尿は無く、超音波検査でも尿管瘤の縮小が認められたが、まだ尿管内には結石が残存している状態である。(写真9)

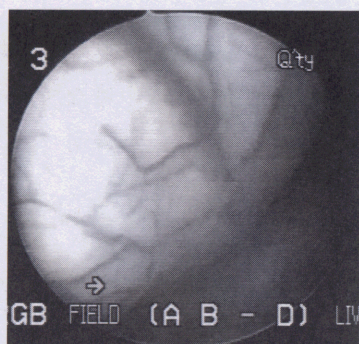


写真 7

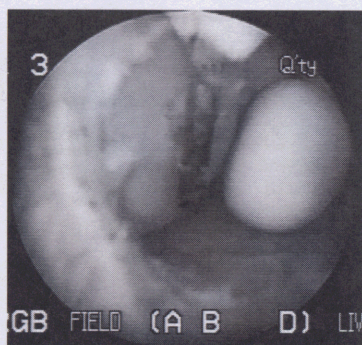


写真 8

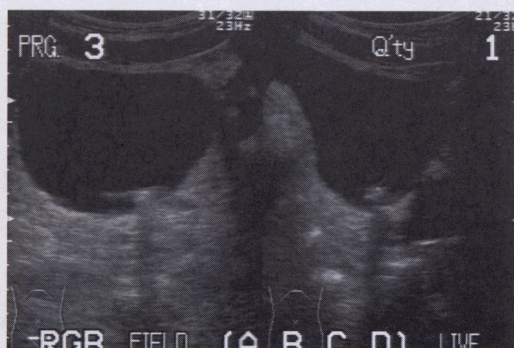


写真 9

## 【 考 察 】

膀胱内に結石が見られた場合、通常膀胱結石とまず考え、そのまま終わってしまうことが多々あると思われるが、年齢や、症状等を考え、やはり、できるかぎり体位変換にて結石の移動性を確認する必要がある。

人間ドックでの超音波検査で膀胱は、ほとんどが排尿後で描出不良だが、男性では前立腺、女性では子宮、卵巣を見える範囲観察することは、早期発見、早期治療に繋がると思われる。

## 【 結 語 】

人間ドックにおいて超音波検査施行時は排尿後で条件は厳しいができるかぎり上腹部と同時に下腹部もスクリーニングすることは必要だと思われる。

## 【 文 献 】

- 1) 瑞慶山良助ほか：上腹超音波検査時に於ける婦人科領域検査の有用性について  
日赤検査 第21号 (45)
- 2) 黒川真輔ほか：経尿道的尿管瘤切除術が有効であった成人異所性尿管瘤  
泌尿器外科 14(8)、571～574
- 3) 徳中莊平：異所性尿管瘤・尿管瘤に対する手術  
臨泌48/4増(177-182) 1994-3